

## 第103回

# トラック運送業界の景況感（速報）

平成30年7月～9月期

---

---

平成30年7月～9月期は、世界経済が回復基調で推移し、企業収益も好調に推移する一方、今期は原材料高騰に加え、豪雨、大型台風、北海道地震など自然災害による悪影響があり、大企業・製造業の業況判断指数は三期連続で悪化した。（三期連続悪化はリーマンショックで過去最低水準を記録した2009年3月以来）

こうしたなか、トラック運送業では、輸送数量及び運賃・料金水準は回復基調を堅持したものの、燃料価格上昇<sup>※</sup>によるコスト増加等により経常損益は悪化した。その結果、景況感の判断指標は▲14.8となり、前回（▲14.7）から横ばいで推移した。

なお、今後の見通しは、燃料価格の高止まり等が来期も継続して影響し、経常損益は一段と悪化（▲6.0ポイント）することが見込まれるため、景況感の判断指標は今回から10ポイント悪化し、▲24.8となる見込みである。

※ 軽油の平均価格の上昇額 +20.73円（対平成29年7～9月期のローリー価格）（全ト協調査結果より）

---

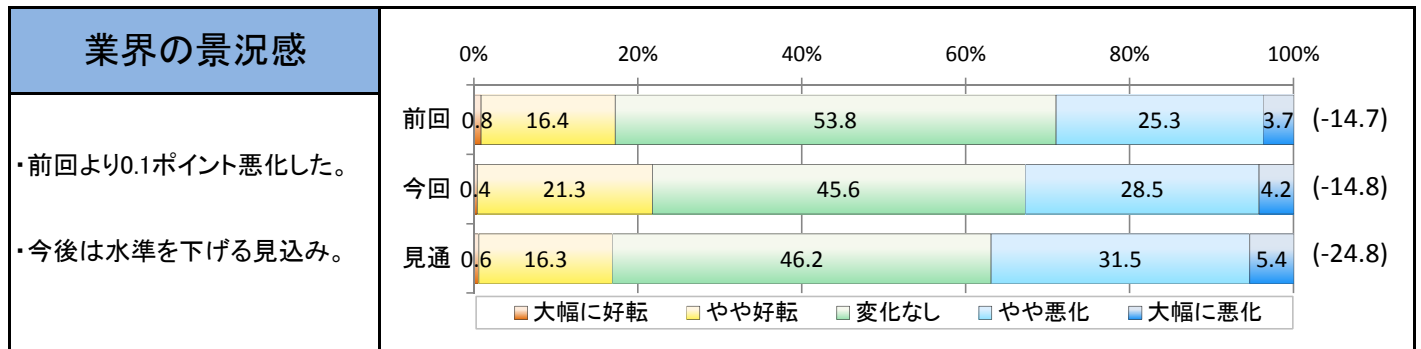
---

平成30年11月12日

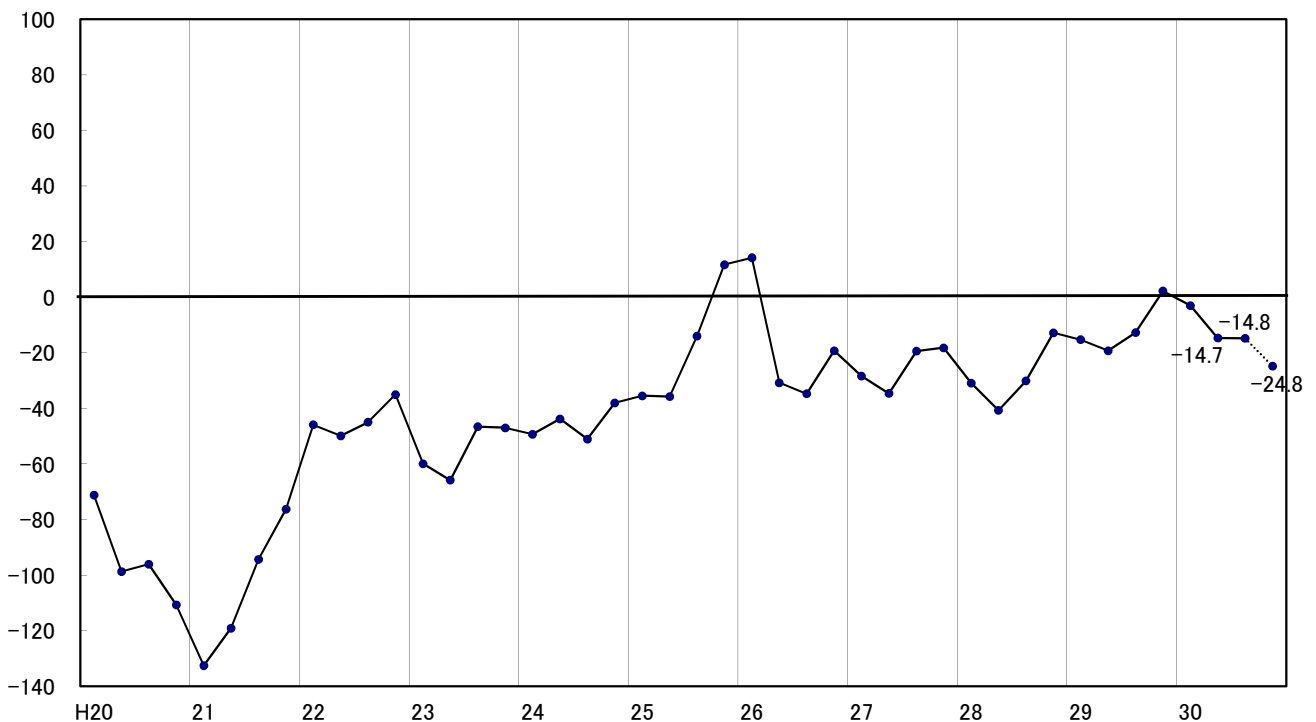
公益社団法人 全日本トラック協会

# 1 業界の景況感:今回(平成30年7月~9月期)の概況と今後の見通し

<b>今回の状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界の景況感は、「好転」とした事業者は21.7%（前回17.2%）、「悪化」とした事業者は32.7%（前回29.0%）で、判断指標は▲14.8となり、前回（▲14.7）から0.1ポイント悪化となった。</li> </ul>
<b>今後の見通し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界の景況感の今後の見通しは、▲24.8（今回▲14.8）と10.0ポイント悪化する見込みである。</li> </ul>



トラック運送業界の景況感の推移(H20以降)



(注1) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の上段は前回(H30.4月~6月期)の状況、中段は今回(H30.7月~9月期)の状況、下段は今後(H30.10月~12月期)の見通しを示す。いずれも前年同期比の回答である。

(注2) 各グラフ(3段の横棒グラフ)の構成比は四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

(注3) 各グラフ(3段の横棒グラフ)右側にあるカッコ内は判断指数。各判断指数は、各設問の回答に対し、「大幅に増加・上昇・好転、労働力不足」は+2、「やや増加・上昇・好転、労働力不足」は+1、「横ばい0、やや減少・低下・悪化、労働力過剰」は-1、「大幅に減少・低下・悪化、労働力過剰」は-2の点数に置き換え、平均を100倍することにより各判断指数を算出している。

A(設問Aの回答者数) = a1+a2+a3+a4+a5(設問Aの選択肢1~5の回答数の和)

指標 = {(+2×a1) + (+1×a2) + (0×a3) + (-1×a4) + (-2×a5)} ÷ A × 100

## 2 共通の概況①: 今回(平成30年7月～9月期)の状況と今後の見通し

今回の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実働率は▲2.9(前回▲3.0)と0.1ポイント改善、実車率は2.5(前回▲2.0)と4.5ポイント改善し、前回と比較して輸送効率は改善した。</li> <li>・ 採用状況は▲7.7(前回▲6.4)と1.3ポイント低下し、採用状況が悪化したことから、雇用状況(労働力の不足感)は92.9(前回88.9)と4.0ポイント上昇し、不足感が強まった。</li> </ul>
今後の見通し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実働率は▲4.4(今回▲2.9)と1.5ポイント悪化、実車率は▲1.2(今回2.5)と3.7ポイント悪化するなど輸送効率は悪化する見込みである。</li> <li>・ 採用状況は▲17.3(今回▲7.7)と9.6ポイント低下することから、雇用状況(労働力の不足感)は102.5(今回92.9)と9.6ポイント上昇し、不足感が強まる見込みである。</li> </ul>

実働率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.8 19.7 58.0 18.4 3.0 (-3.0)</p> <p>今回 0.8 21.9 54.4 19.4 3.5 (-2.9)</p> <p>見通 0.6 18.5 59.0 19.8 2.1 (-4.4)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下</p>
<p>・ 前回より0.1ポイント改善した。</p> <p>・ 今後も今回とほぼ同様の水準の見込み。</p>	
実車率	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.5 18.7 61.2 17.4 2.2 (-2.0)</p> <p>今回 0.6 21.3 60.2 15.8 2.1 (2.5)</p> <p>見通 0.6 18.1 62.7 16.9 1.7 (-1.2)</p> <p>■ 大幅に上昇 ■ やや上昇 ■ 横ばい ■ やや低下 ■ 大幅に低下</p>
<p>・ 前回より4.5ポイント改善した。</p> <p>・ 今後は水準を僅かに下げる見込み。</p>	
採用状況	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 2.0 16.9 60.4 14.2 6.6 (-6.4)</p> <p>今回 1.0 19.8 55.2 18.7 5.4 (-7.7)</p> <p>見通 0.8 16.0 56.5 18.7 8.1 (-17.3)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
<p>・ 前回より1.3ポイント低下した。</p> <p>・ 今後は水準を下げる見込み。</p>	
雇用状況 (労働力の不足感)	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 22.9 45.7 29.2 1.7 (88.9)</p> <p>今回 24.8 44.6 29.4 1.0 (92.9)</p> <p>見通 30.8 42.5 25.4 1.2 (102.5)</p> <p>■ 不足 ■ やや不足 ■ 適当 ■ やや過剰 ■ 過剰</p>
<p>・ 前回より4.0ポイント上昇した(不足感が強くなった)。</p> <p>・ 今後は水準を上げる見込み。</p>	

(注4) 雇用状況については、上段は前回(H30.4月～6月期)の状況、中段は今回(H30.7月～9月期)の状況、下段は今後(H30.10月～12月期)の見通しを示しているが、前回及び今回は前年同期比ではなく「その期の状況」を、見通しは「前年同期比の見通し」を集計している。

### 3 共通の概況②: 今回(平成30年7月~9月期)の状況と今後の見通し

<b>今回の状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所定外労働時間は▲9.2(前回▲15.5)と6.3ポイント増加し、貨物の再委託(下請運送会社への委託割合)は4.6(前回4.9)と0.3ポイント減少した。</li> <li>燃料価格上昇による経費増加の影響を受け、「一般貨物」、「宅配以外貨物」において営業利益が悪化したことから、経常損益は▲23.8(前回▲17.9)と5.9ポイント悪化、経常損益の水準は前回調査に引き続き、落込みを見せた。</li> </ul>
<b>今後の見通し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>所定外労働時間は▲8.3(今回▲9.2)と0.9ポイント増加する見込みであり、貨物の再委託は3.8(今回4.6)と0.8ポイント減少する見込みである。</li> <li>経常損益は、労働力不足や燃料価格上昇等の影響から、▲29.8(今回▲23.8)と6.0ポイント悪化し、経常損益の水準はさらに落込む見込みである。</li> </ul>

<b>所定外労働時間</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 0.3 10.1 65.1 22.6 1.9 (-15.5)</p> <p>今回 1.0 14.4 61.0 21.7 1.9 (-9.2)</p> <p>見通し 1.3 12.1 64.8 20.4 1.3 (-8.3)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 横ばい ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
<b>貨物の再委託 (下請運送会社への委託割合)</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 2.4 16.2 67.5 12.0 2.0 (4.9)</p> <p>今回 2.7 19.4 61.0 13.7 3.3 (4.6)</p> <p>見通し 2.1 17.9 64.2 13.3 2.5 (3.8)</p> <p>■ 大幅に増加 ■ やや増加 ■ 変わらない ■ やや減少 ■ 大幅に減少</p>
<b>経常損益</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>前回 1.0 21.4 40.1 33.6 3.9 (-17.9)</p> <p>今回 1.0 21.5 36.7 34.2 6.5 (-23.8)</p> <p>見通し 0.6 16.5 41.5 35.2 6.2 (-29.8)</p> <p>■ 大幅に好転 ■ やや好転 ■ 変化なし ■ やや悪化 ■ 大幅に悪化</p>

#### 【調査の概要】

平成5年3月より開始、以降3カ月ごとに実施。第103回調査は、平成30年10月1日に、モニターに対して調査開始、平成30年10月31日回収分までを集計。

特積	一般	回答事業者全体
67	490	520

※一部回答事業者の重複あり

#### 4 一般貨物:今回(平成30年7月~9月期)の状況と今後の見通し

<b>今回の状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般貨物では、輸送数量は0.8となり、前回(▲2.8)から3.6ポイント改善、運賃・料金の水準は20.8(前回19.0)と1.8ポイント改善したことから、営業収入(売上高)は2.2となり、前回(▲0.4)から2.6ポイント改善した。</li> <li>燃料価格上昇による経費増加の影響を受け、営業利益が「減少」とする事業者が39.6%、「増加」とする事業者が20.2%で、判断指標は▲27.6となり、前回(▲22.0)から5.6ポイント悪化した。</li> </ul>
<b>今後の見通し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般貨物では、輸送数量が▲4.7(今回0.8)と5.5ポイント悪化、運賃・料金の水準は21.0(今回20.8)と0.2ポイント改善するものの、輸送数量の悪化による影響が大きく、営業収入(売上高)は▲2.7(今回2.2)と4.9ポイント悪化するため、営業利益は▲30.2(今回▲27.6)と2.6ポイント悪化の見込みである。</li> </ul>

<b>輸送数量</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>1.2</td> <td>24.5</td> <td>48.0</td> <td>22.7</td> <td>3.5</td> <td>(-2.8)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.8</td> <td>26.5</td> <td>46.3</td> <td>21.2</td> <td>4.1</td> <td>(0.8)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.2</td> <td>21.6</td> <td>51.8</td> <td>21.8</td> <td>3.5</td> <td>(-4.7)</td> </tr> </table>	前回	1.2	24.5	48.0	22.7	3.5	(-2.8)	今回	1.8	26.5	46.3	21.2	4.1	(0.8)	見通し	1.2	21.6	51.8	21.8	3.5	(-4.7)
前回	1.2	24.5	48.0	22.7	3.5	(-2.8)																
今回	1.8	26.5	46.3	21.2	4.1	(0.8)																
見通し	1.2	21.6	51.8	21.8	3.5	(-4.7)																
<b>運賃・料金の水準</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>0.7</td> <td>23.6</td> <td>70.6</td> <td>4.3</td> <td>0.9</td> <td>(19.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.2</td> <td>26.7</td> <td>64.5</td> <td>6.7</td> <td>0.8</td> <td>(20.8)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.4</td> <td>27.3</td> <td>63.5</td> <td>6.3</td> <td>1.4</td> <td>(21.0)</td> </tr> </table>	前回	0.7	23.6	70.6	4.3	0.9	(19.0)	今回	1.2	26.7	64.5	6.7	0.8	(20.8)	見通し	1.4	27.3	63.5	6.3	1.4	(21.0)
前回	0.7	23.6	70.6	4.3	0.9	(19.0)																
今回	1.2	26.7	64.5	6.7	0.8	(20.8)																
見通し	1.4	27.3	63.5	6.3	1.4	(21.0)																
<b>営業収入(売上高)</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>1.4</td> <td>27.7</td> <td>44.1</td> <td>22.7</td> <td>4.1</td> <td>(-0.4)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>2.2</td> <td>28.8</td> <td>42.7</td> <td>21.6</td> <td>4.7</td> <td>(2.2)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.6</td> <td>24.3</td> <td>48.4</td> <td>21.2</td> <td>4.5</td> <td>(-2.7)</td> </tr> </table>	前回	1.4	27.7	44.1	22.7	4.1	(-0.4)	今回	2.2	28.8	42.7	21.6	4.7	(2.2)	見通し	1.6	24.3	48.4	21.2	4.5	(-2.7)
前回	1.4	27.7	44.1	22.7	4.1	(-0.4)																
今回	2.2	28.8	42.7	21.6	4.7	(2.2)																
見通し	1.6	24.3	48.4	21.2	4.5	(-2.7)																
<b>営業利益</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <tr> <td>前回</td> <td>0.9</td> <td>17.7</td> <td>45.2</td> <td>30.9</td> <td>5.3</td> <td>(-22.0)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.0</td> <td>19.2</td> <td>40.2</td> <td>30.4</td> <td>9.2</td> <td>(-27.6)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.6</td> <td>16.3</td> <td>43.9</td> <td>30.6</td> <td>8.6</td> <td>(-30.2)</td> </tr> </table>	前回	0.9	17.7	45.2	30.9	5.3	(-22.0)	今回	1.0	19.2	40.2	30.4	9.2	(-27.6)	見通し	0.6	16.3	43.9	30.6	8.6	(-30.2)
前回	0.9	17.7	45.2	30.9	5.3	(-22.0)																
今回	1.0	19.2	40.2	30.4	9.2	(-27.6)																
見通し	0.6	16.3	43.9	30.6	8.6	(-30.2)																

## 5 宅配貨物:今回(平成30年7月~9月期)の状況と今後の見通し

<b>今回の状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配貨物では、輸送数量は▲15.2となり、前回(▲30.8)より15.6ポイント改善するが、運賃・料金の水準は66.7(前回76.9)と10.2ポイント悪化したものの、堅調に推移していることから、営業収入(売上高)は▲3.0となり、前回(▲11.5)よりも8.5ポイント改善した。</li> <li>営業収入(売上高)の改善が寄与した結果、営業利益は「減少」とする事業者が27.3%、「増加」とする事業者が30.3%で、判断指標は▲3.0となり、前回(▲15.4)よりも12.4ポイント改善した。</li> </ul>
<b>今後の見通し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配貨物では、輸送数量が▲3.0(今回▲15.2)と12.2ポイント改善する見込みである。運賃・料金の水準は33.3(今回66.7)と33.4ポイント悪化するものの、プラス圏で回復基調が維持されることから、営業収入(売上高)は3.0(今回▲3.0)と6.0ポイント改善、一方営業利益は燃料価格の高止まり等のコストアップによる影響を受け、▲6.1(今回▲3.0)と3.1ポイント悪化する見込みである。</li> </ul>

<b>輸送数量</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>15.4</td> <td>50.0</td> <td>23.1</td> <td>11.5</td> <td>(-30.8)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>3.0</td> <td>21.2</td> <td>39.4</td> <td>30.3</td> <td>6.1</td> <td>(-15.2)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.0</td> <td>27.3</td> <td>45.5</td> <td>24.2</td> <td>3.0</td> <td>(-3.0)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	15.4	50.0	23.1	11.5	(-30.8)	今回	3.0	21.2	39.4	30.3	6.1	(-15.2)	見通し	0.0	27.3	45.5	24.2	3.0	(-3.0)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	15.4	50.0	23.1	11.5	(-30.8)																							
今回	3.0	21.2	39.4	30.3	6.1	(-15.2)																							
見通し	0.0	27.3	45.5	24.2	3.0	(-3.0)																							
<b>運賃・料金の水準</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや下落</th> <th>大幅に下落</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>19.2</td> <td>42.3</td> <td>34.6</td> <td>0.0</td> <td>3.8</td> <td>(76.9)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>12.1</td> <td>45.5</td> <td>39.4</td> <td>0.0</td> <td>3.0</td> <td>(66.7)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.0</td> <td>42.4</td> <td>51.5</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>(33.3)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計	前回	19.2	42.3	34.6	0.0	3.8	(76.9)	今回	12.1	45.5	39.4	0.0	3.0	(66.7)	見通し	0.0	42.4	51.5	3.0	3.0	(33.3)
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計																							
前回	19.2	42.3	34.6	0.0	3.8	(76.9)																							
今回	12.1	45.5	39.4	0.0	3.0	(66.7)																							
見通し	0.0	42.4	51.5	3.0	3.0	(33.3)																							
<b>営業収入(売上高)</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>3.8</td> <td>19.2</td> <td>42.3</td> <td>30.8</td> <td>3.8</td> <td>(-11.5)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>3.0</td> <td>30.3</td> <td>36.4</td> <td>21.2</td> <td>9.1</td> <td>(-3.0)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.0</td> <td>36.4</td> <td>36.4</td> <td>21.2</td> <td>6.1</td> <td>(3.0)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	3.8	19.2	42.3	30.8	3.8	(-11.5)	今回	3.0	30.3	36.4	21.2	9.1	(-3.0)	見通し	0.0	36.4	36.4	21.2	6.1	(3.0)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	3.8	19.2	42.3	30.8	3.8	(-11.5)																							
今回	3.0	30.3	36.4	21.2	9.1	(-3.0)																							
見通し	0.0	36.4	36.4	21.2	6.1	(3.0)																							
<b>営業利益</b>	<p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>23.1</td> <td>42.3</td> <td>30.8</td> <td>3.8</td> <td>(-15.4)</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>0.0</td> <td>30.3</td> <td>42.4</td> <td>21.2</td> <td>6.1</td> <td>(-3.0)</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>0.0</td> <td>30.3</td> <td>39.4</td> <td>24.2</td> <td>6.1</td> <td>(-6.1)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	23.1	42.3	30.8	3.8	(-15.4)	今回	0.0	30.3	42.4	21.2	6.1	(-3.0)	見通し	0.0	30.3	39.4	24.2	6.1	(-6.1)
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	23.1	42.3	30.8	3.8	(-15.4)																							
今回	0.0	30.3	42.4	21.2	6.1	(-3.0)																							
見通し	0.0	30.3	39.4	24.2	6.1	(-6.1)																							

## 6 宅配以外の特積貨物:今回(平成30年7月~9月期)の状況と今後の見通し

<b>今回の状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配以外貨物では、輸送数量は27.9となり、前回(7.0)から20.9ポイント改善、運賃・料金の水準は65.6(前回64.8)と0.8ポイント改善した結果、営業収入(売上高)は47.5となり、前回(32.4)から15.1ポイント改善した。</li> <li>営業収入(売上高)の改善が寄与し、営業利益は「減少」とする事業者が18.0%、「増加」とする事業者が44.2%で、判断指標は27.9となり、前回(23.9)から4.0ポイント改善した。</li> </ul>
<b>今後の見通し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配以外貨物では、輸送数量が16.4(今回27.9)と11.5ポイント悪化し、運賃・料金の水準も45.9(今回65.6)と19.7ポイント悪化することから、営業収入(売上高)は29.5(今回47.5)と18.0ポイント悪化、営業利益は8.2(今回27.9)と19.7ポイント悪化する見込みである。</li> </ul>

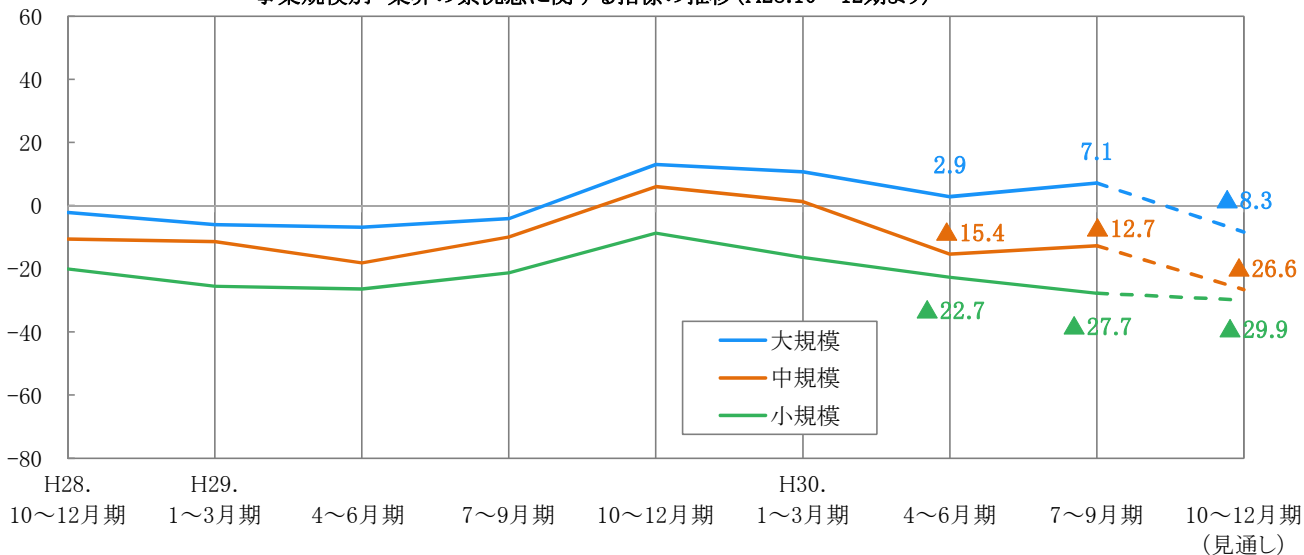
輸送数量																													
<p>・前回より20.9ポイント改善した。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>	<table border="1"> <caption>輸送数量の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>0.0</td> <td>33.8</td> <td>42.3</td> <td>21.1</td> <td>2.8</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.6</td> <td>41.0</td> <td>41.0</td> <td>16.4</td> <td>0.0</td> <td>27.9</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.6</td> <td>27.9</td> <td>55.7</td> <td>14.8</td> <td>0.0</td> <td>16.4</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	0.0	33.8	42.3	21.1	2.8	7.0	今回	1.6	41.0	41.0	16.4	0.0	27.9	見通し	1.6	27.9	55.7	14.8	0.0	16.4
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	0.0	33.8	42.3	21.1	2.8	7.0																							
今回	1.6	41.0	41.0	16.4	0.0	27.9																							
見通し	1.6	27.9	55.7	14.8	0.0	16.4																							
運賃・料金の水準																													
<p>・前回より0.8ポイント改善した。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>	<table border="1"> <caption>運賃・料金の水準の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に上昇</th> <th>やや上昇</th> <th>横ばい</th> <th>やや下落</th> <th>大幅に下落</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>5.6</td> <td>53.5</td> <td>40.8</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>64.8</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>6.6</td> <td>54.1</td> <td>37.7</td> <td>1.6</td> <td>0.0</td> <td>65.6</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.6</td> <td>50.8</td> <td>39.3</td> <td>8.2</td> <td>0.0</td> <td>45.9</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計	前回	5.6	53.5	40.8	0.0	0.0	64.8	今回	6.6	54.1	37.7	1.6	0.0	65.6	見通し	1.6	50.8	39.3	8.2	0.0	45.9
項目	大幅に上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大幅に下落	合計																							
前回	5.6	53.5	40.8	0.0	0.0	64.8																							
今回	6.6	54.1	37.7	1.6	0.0	65.6																							
見通し	1.6	50.8	39.3	8.2	0.0	45.9																							
営業収入(売上高)																													
<p>・前回より15.1ポイント改善した。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>	<table border="1"> <caption>営業収入(売上高)の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>2.8</td> <td>40.8</td> <td>43.7</td> <td>11.3</td> <td>1.4</td> <td>32.4</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.6</td> <td>52.5</td> <td>37.7</td> <td>8.2</td> <td>0.0</td> <td>47.5</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.6</td> <td>42.6</td> <td>39.3</td> <td>16.4</td> <td>0.0</td> <td>29.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	2.8	40.8	43.7	11.3	1.4	32.4	今回	1.6	52.5	37.7	8.2	0.0	47.5	見通し	1.6	42.6	39.3	16.4	0.0	29.5
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	2.8	40.8	43.7	11.3	1.4	32.4																							
今回	1.6	52.5	37.7	8.2	0.0	47.5																							
見通し	1.6	42.6	39.3	16.4	0.0	29.5																							
営業利益																													
<p>・前回より4.0ポイント改善した。</p> <p>・今後は水準を下げる見込み。</p>	<table border="1"> <caption>営業利益の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>大幅に増加</th> <th>やや増加</th> <th>横ばい</th> <th>やや減少</th> <th>大幅に減少</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前回</td> <td>5.6</td> <td>33.8</td> <td>42.3</td> <td>15.5</td> <td>2.8</td> <td>23.9</td> </tr> <tr> <td>今回</td> <td>1.6</td> <td>42.6</td> <td>37.7</td> <td>18.0</td> <td>0.0</td> <td>27.9</td> </tr> <tr> <td>見通し</td> <td>1.6</td> <td>27.9</td> <td>47.5</td> <td>23.0</td> <td>0.0</td> <td>8.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計	前回	5.6	33.8	42.3	15.5	2.8	23.9	今回	1.6	42.6	37.7	18.0	0.0	27.9	見通し	1.6	27.9	47.5	23.0	0.0	8.2
項目	大幅に増加	やや増加	横ばい	やや減少	大幅に減少	合計																							
前回	5.6	33.8	42.3	15.5	2.8	23.9																							
今回	1.6	42.6	37.7	18.0	0.0	27.9																							
見通し	1.6	27.9	47.5	23.0	0.0	8.2																							

## 7 事業者特性格別の特徴①:規模別・品目別 業界の景況感

### 規模 (注5)

- ・ 大規模事業者：7.1(前回2.9)と4.2ポイント改善、今後は▲8.3と15.4ポイント下げる見通し。
- ・ 中規模事業者：▲12.7(前回▲15.4)と2.7ポイント改善、今後は▲26.6と13.9ポイント下げる見通し。
- ・ 小規模事業者：▲27.7(前回▲22.7)と5.0ポイント悪化、今後は▲29.9と2.2ポイント下げる見通し。

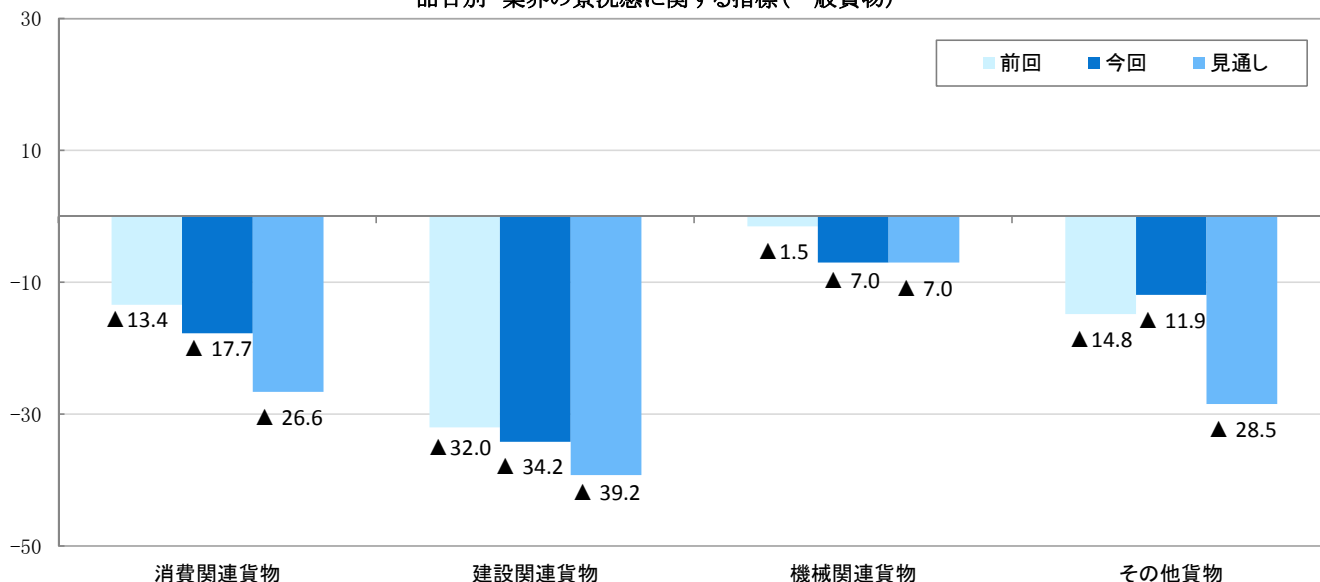
事業規模別 業界の景況感に関する指標の推移(H28.10~12期より)



### 品目 (注6)

- ・ 「消費関連貨物」：▲17.7(前回▲13.4)と▲4.3ポイント悪化、今後は▲26.6と8.9ポイント悪化する見通し。
- ・ 「建設関連貨物」：▲34.2(前回▲32.0)と▲2.2ポイント悪化、今後は▲39.2と▲5.0ポイント悪化する見通し。
- ・ 「機械関連貨物」：▲7.0(前回▲1.5)と▲5.5ポイント悪化、今後は▲7.0と横ばいの見通し。
- ・ 「その他貨物」：▲11.9(前回▲14.8)と2.9ポイント改善、今後は▲28.5と▲16.6ポイント悪化する見通し。

品目別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



(注5) 規模別分類

大規模事業者：101両以上

中規模事業者：21両以上100両以下

小規模事業者：20両以下

(注6) 品目別分類

消費関連貨物：農水産品、食料工業品、日用品など

建設関連貨物：林産品、砂利、砂、石材、建設用資材、窯業品（セメント等）など

機械関連貨物：電気機械（家電含む）、輸送機械（自動車等）など

その他貨物：石炭、原油、石油、化学、紙・パルプなど

品目別業界の景況感に関する指標は、「一般貨物」の輸送品目について1位の回答を反映している。

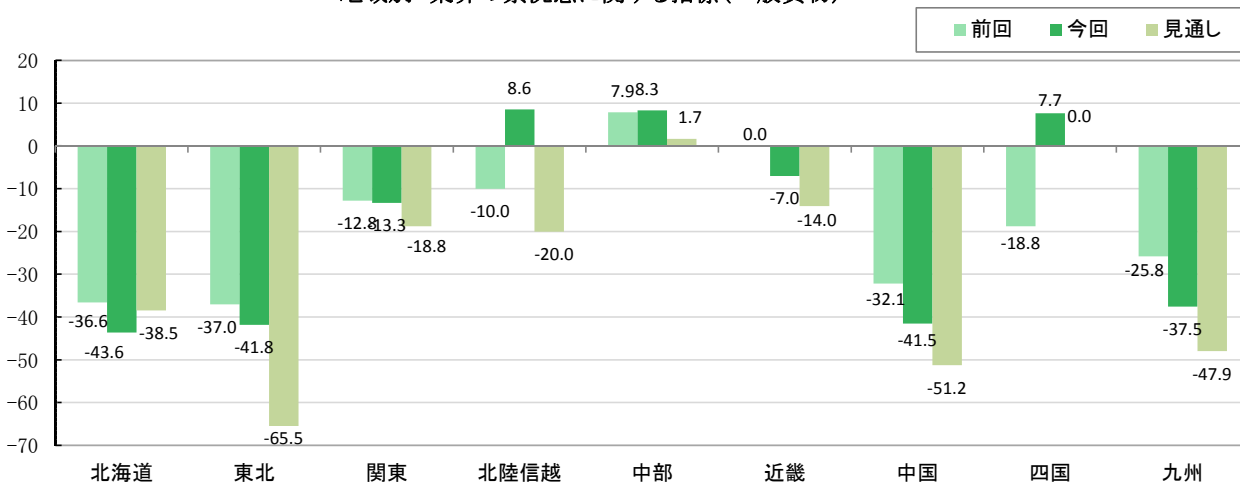


## 7 事業者特性別の特徴②：地域別・事業形態別 業界の景況感等

### 地域 (注7)

- 一般貨物の景況感を地域別にみると、北海道、東北、関東、近畿、中国、九州の各域で水準を下げている。一方、北陸信越、中部、四国の各地域で水準を上げている。
- 来期(平成30年10月～12月期)の景況感の見通しは、東北、関東、北陸信越、中部、近畿、中国、四国、九州の各地域で水準を下げ、北海道地域は水準を改善する見通しとなっている。

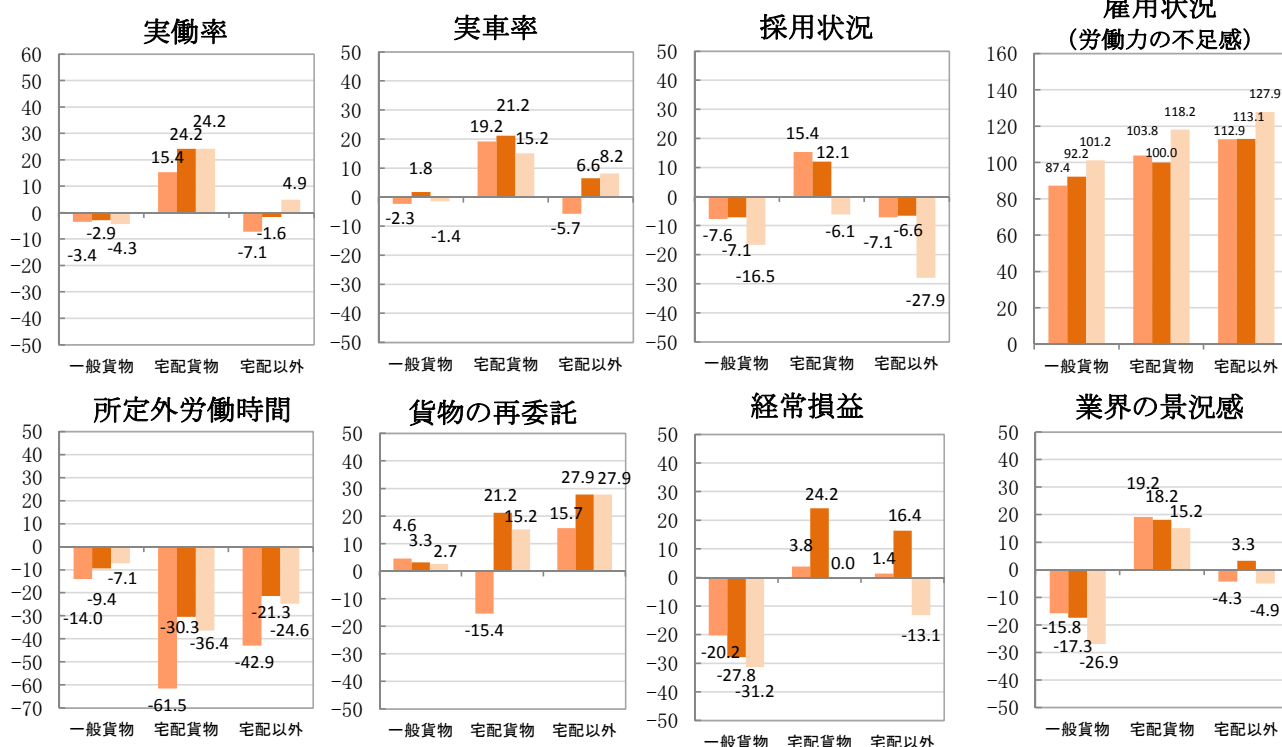
地域別 業界の景況感に関する指標(一般貨物)



### 事業形態別 (注8)

- 「一般貨物」、「宅配以外貨物」では採用状況が好転したが、労働力の不足感は強まる結果となった。
- 「一般貨物」、「宅配貨物」、「宅配以外貨物」の全てにおいて、実働率及び実車率(輸送効率)は改善し、所定外労働時間は悪化(残業時間の増加傾向)。経常損益は「一般貨物」のみが悪化したが、来期見通しは燃料価格の高止まりによる経費増加が見込まれることから、全てにおいて悪化の見通しとなっている。
- 今回の景況感は、「一般貨物」と「宅配貨物」で悪化し、「宅配以外貨物」のみ改善した。今後の景況感の見通しは、「一般貨物」は▲26.7(今回▲17.3)、「宅配貨物」は15.2(今回18.2)、「宅配以外貨物」は▲4.9(今回3.3)と全てにおいて水準を下げる見通しとなっている。

前回 今回 見通し

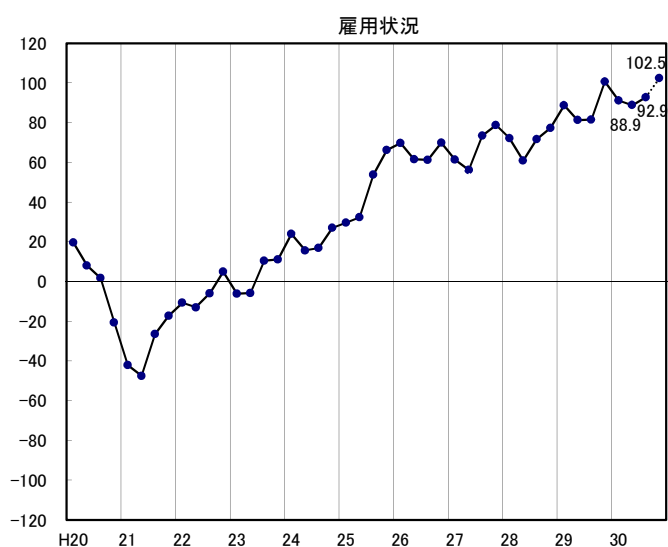
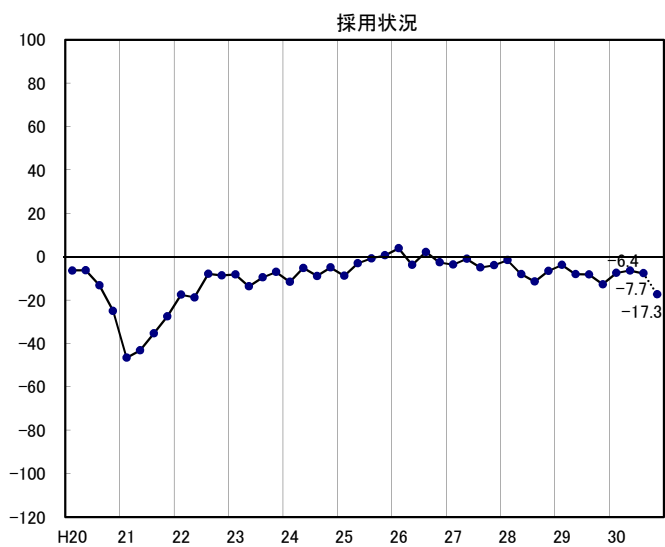
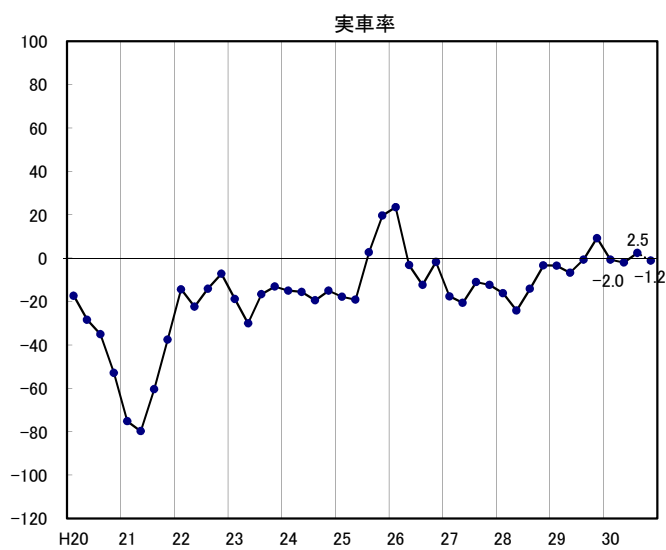
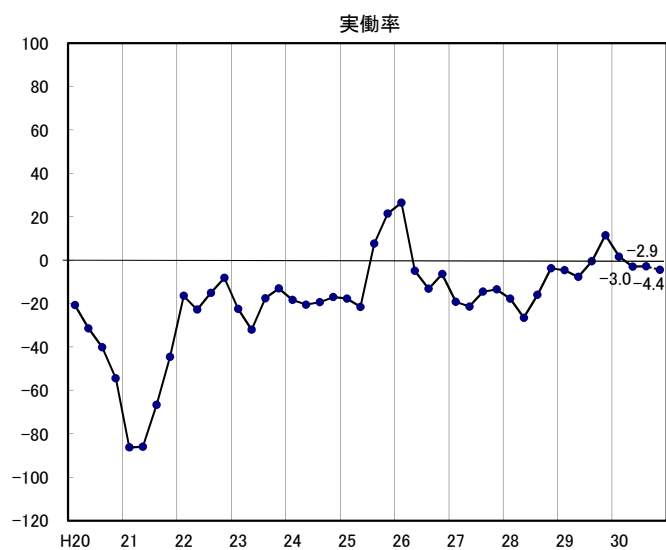


(注7) 地域分類は地方運輸局管轄地域区分に基づく。なお、グラフは一般貨物の事業者のみ集計している。

(注8) 事業形態の分類は、「一般貨物」及び「宅配貨物」「宅配以外の特積貨物」である。

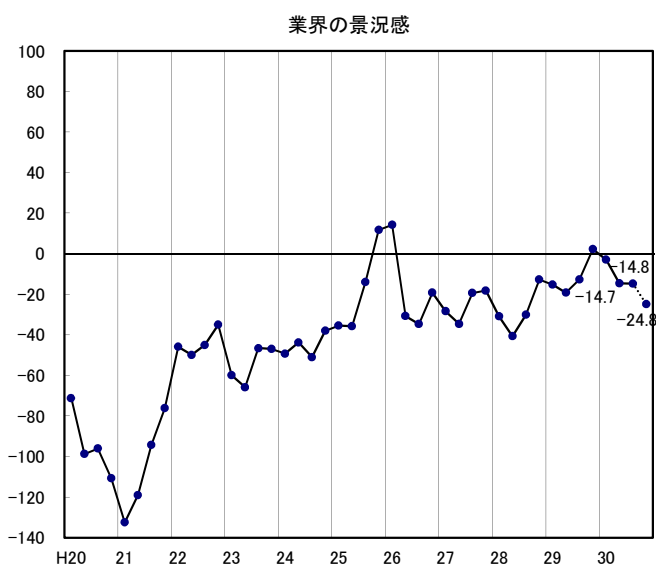
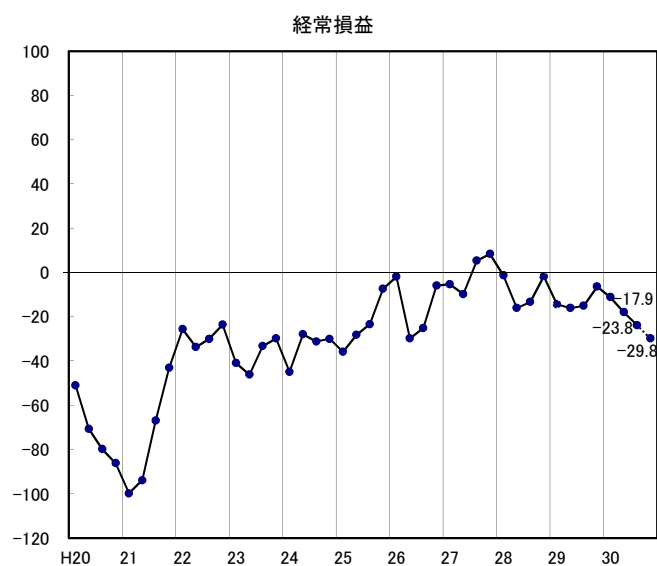
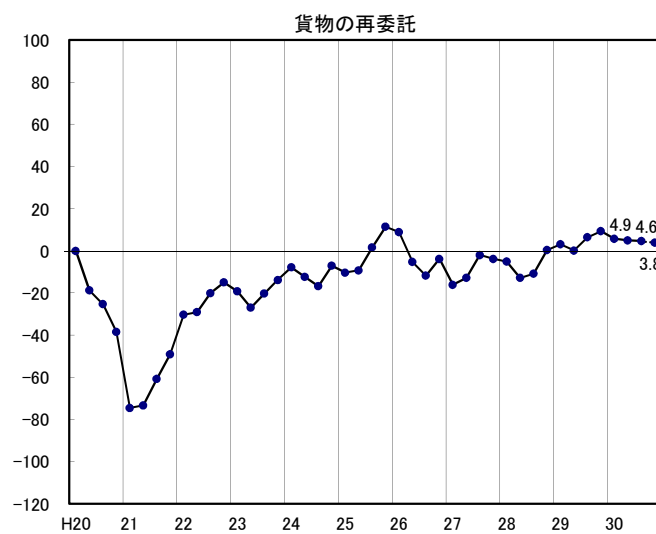
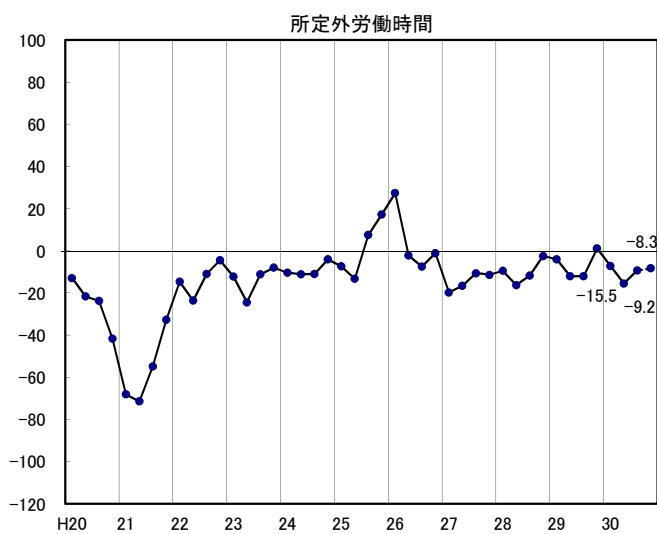
## 8 業況判断指標の推移(平成20年～平成30年第4四半期見通し)

### 共通の概況①



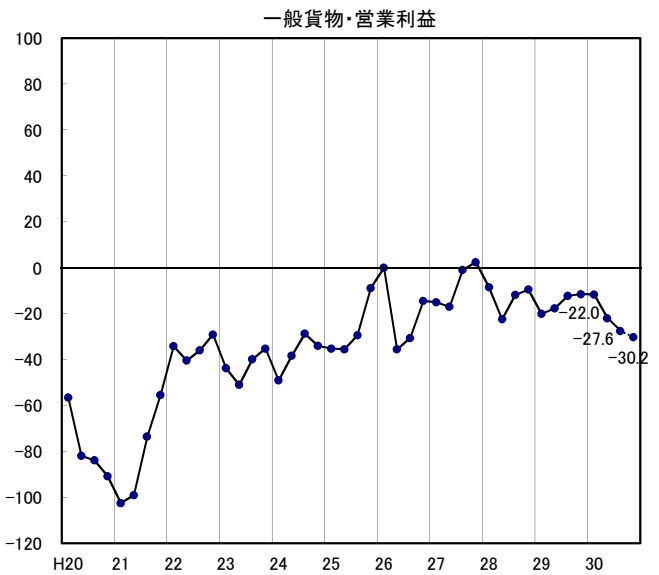
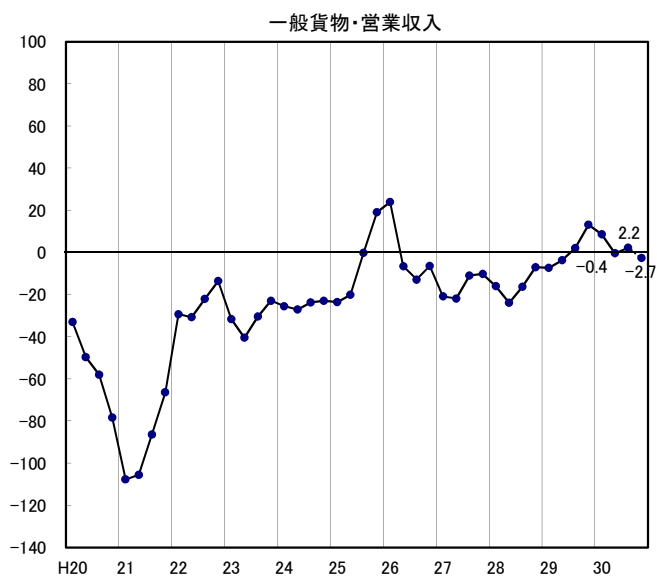
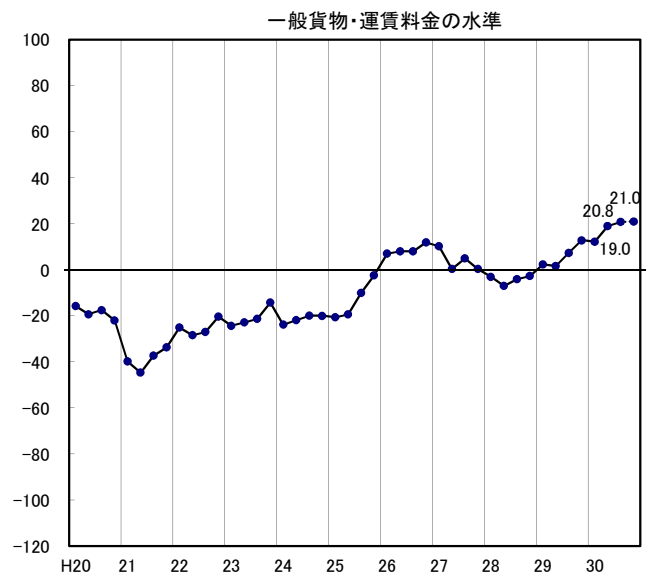
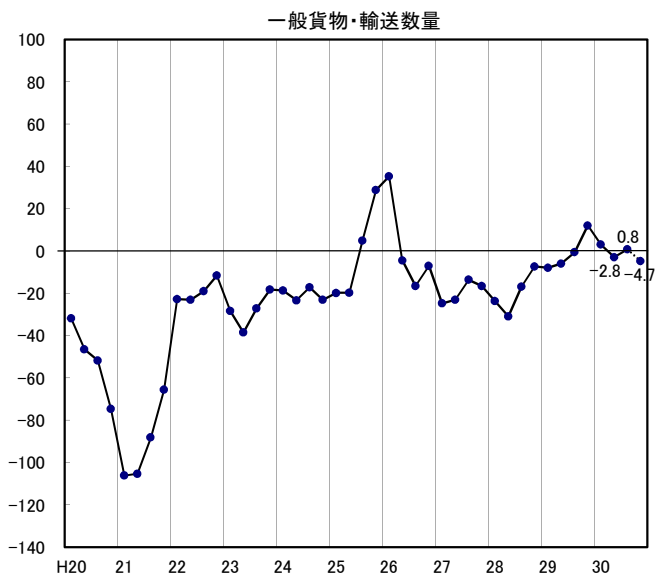
## 8 業況判断指標の推移(平成20年～平成30年第4四半期見通し)

### 共通の概況②



## 8 業況判断指標の推移(平成20年～平成30年第4四半期見通し)

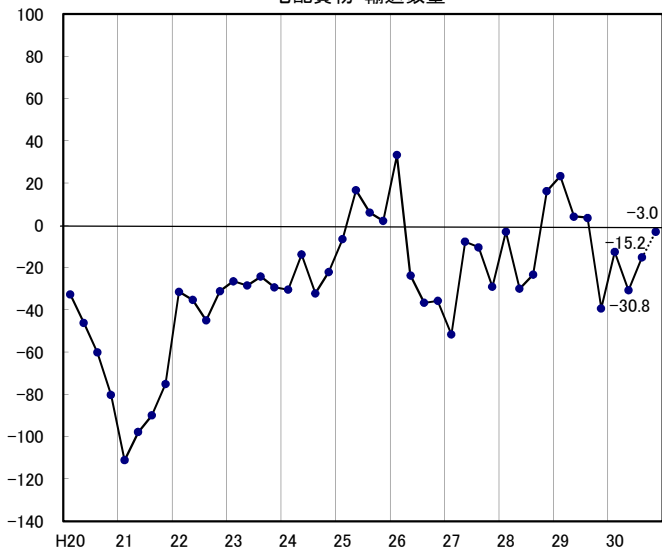
### 一般貨物



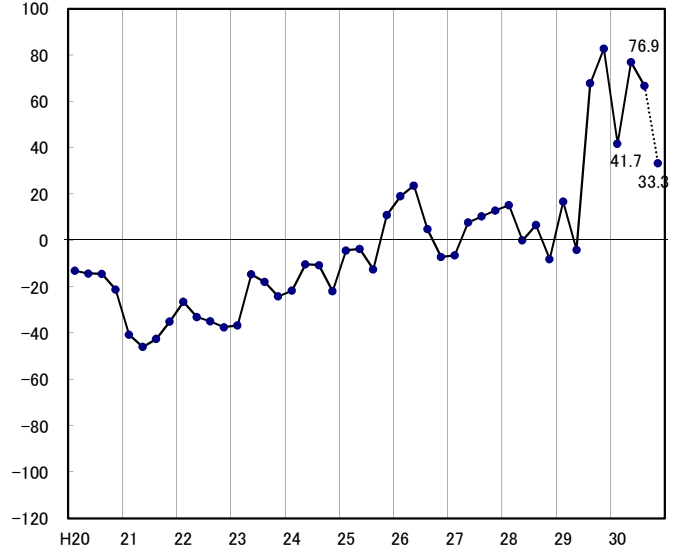
## 8 業況判断指標の推移(平成20年～平成30年第4四半期見通し)

### 宅配貨物

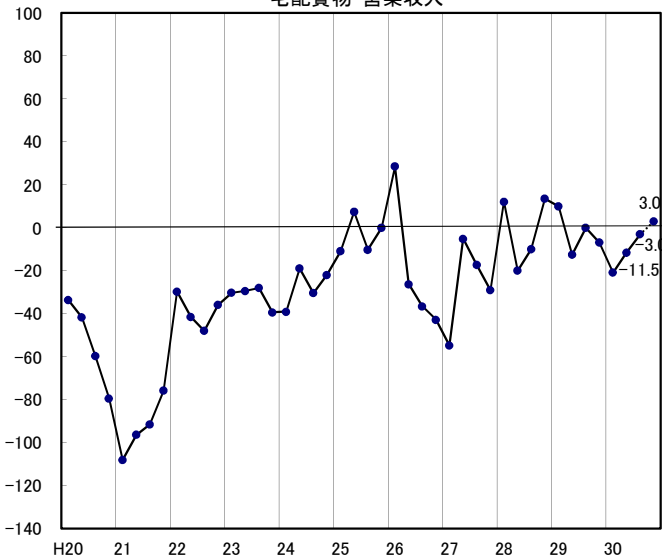
宅配貨物・輸送数量



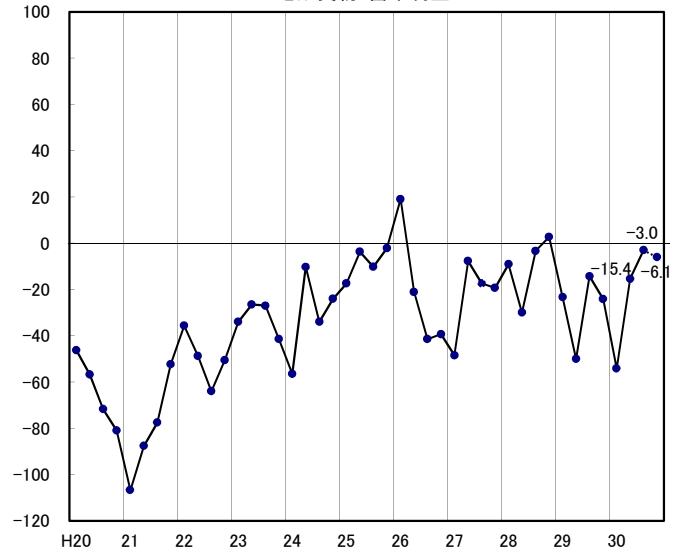
宅配貨物・運賃料金の水準



宅配貨物・営業収入



宅配貨物・営業利益



## 8 業況判断指標の推移(平成20年～平成30年第4四半期見通し)

### 宅配以外の特積貨物

